

病院にかかるタイミング

どんな症状が出たら病院に行くか

①

新型コロナウイルスの主な症状は発熱、倦怠感、咳である。少数の患者には鼻づまり、鼻水、下痢等の症状も見られる。重症になると1週間後に呼吸が困難になり、更に重くなると急性呼吸不全や敗血症ショック、代謝性アシドーシス中毒、血液凝固障害などがみられる。もし呼吸器官の症状、発熱、悪寒、倦怠感、下痢、結膜の充血の症状がでた場合は病院にかかるべきである。

新型コロナウイルスに感染した かもしれないと思ったら

②

もし自分が感染したかもしれないと思ったら、人込みに行くことを避け、マスクをし、家族とも一定の距離をとること。また家の風通しを良くし、衛生的に注意し、近くの発熱専門の病院にかかること。病院では接触した人を報告し、医師の調査に協力すること。

身近な人が新型コロナウイルスに感 染したかもしれないと思ったら

③

もし身近な人が感染したかもしれないと思ったら、自分もマスクをし、一定の距離をとり、相手にもマスクを装着させたいうえで、近くの発熱専門の病院にかかるよう勧めること。

